

E B S DデータをT e x T o o l sで解析

E B S DデータをT e x T o o l sで解析を行うと，L a b o T e xと似た結果を表示

2021年01月04日

HelperTex Office

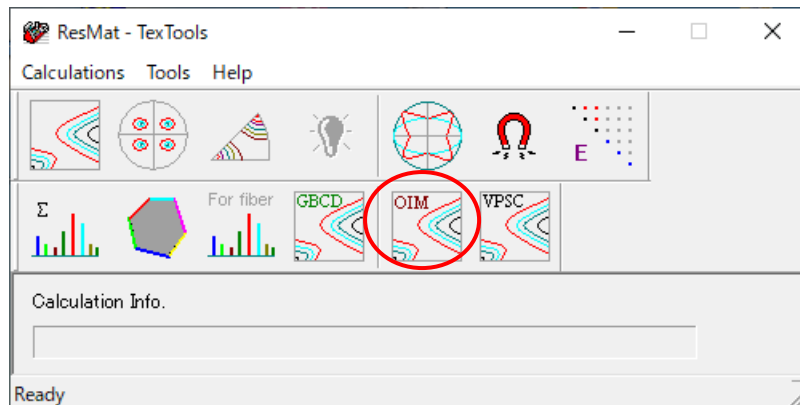
概要

TexToolsでもEBSDデータ解析は可能であるが、LaboTexやMTEXで確認したデータ点数の少ないシュミレーションデータ‘Goss単結晶’は、計算結果の確認はできない。読み込むフォーマットは、OIMデータで、EBSD付属angデータはほぼ解析可能であるが、複数相をEBSDtoLaboTexで指定する。

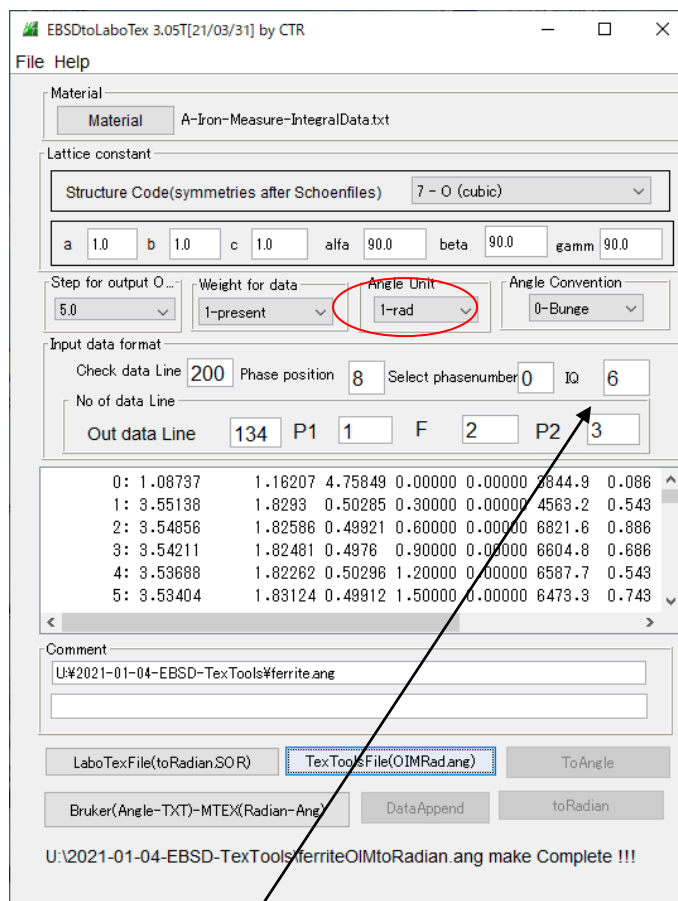
本資料ではMTEX付属fermite.angデータをTexTools, Labotex, MTEXで解析比較を行う。

TexTools変換のため、IQ値、CI値も追加した。

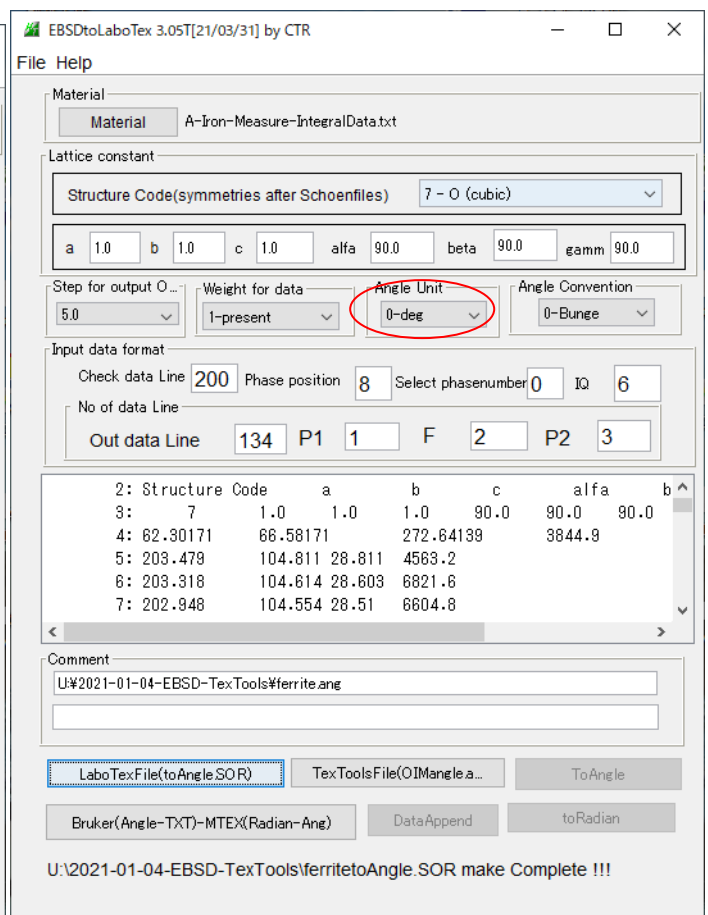
TexTools



TexTools変換

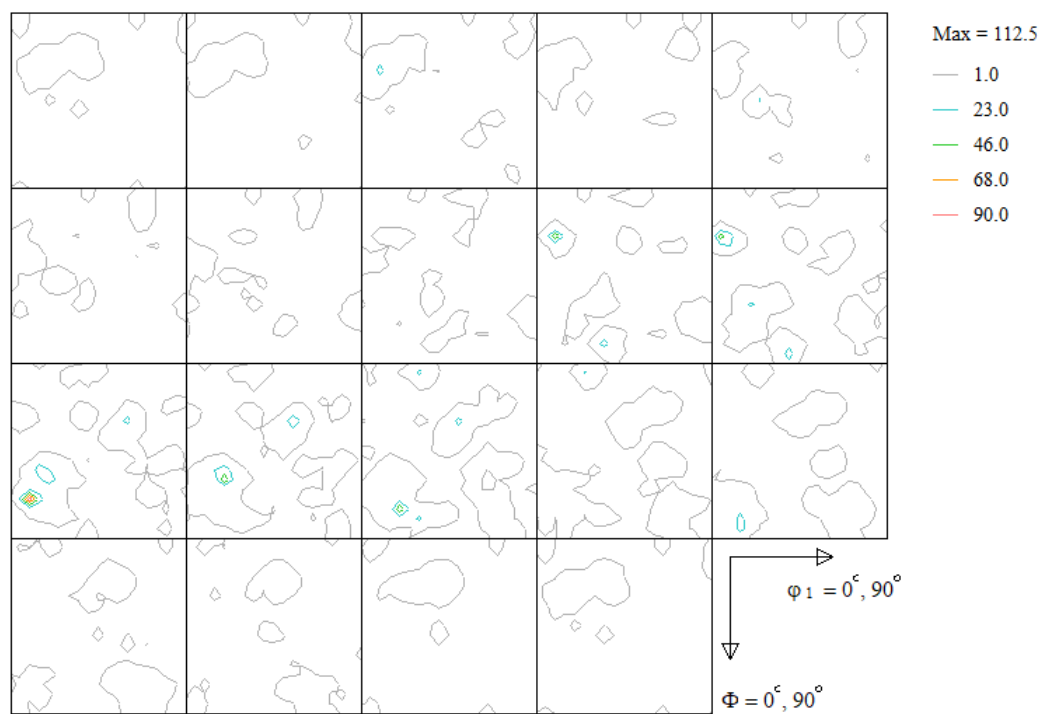


LaboTex変換

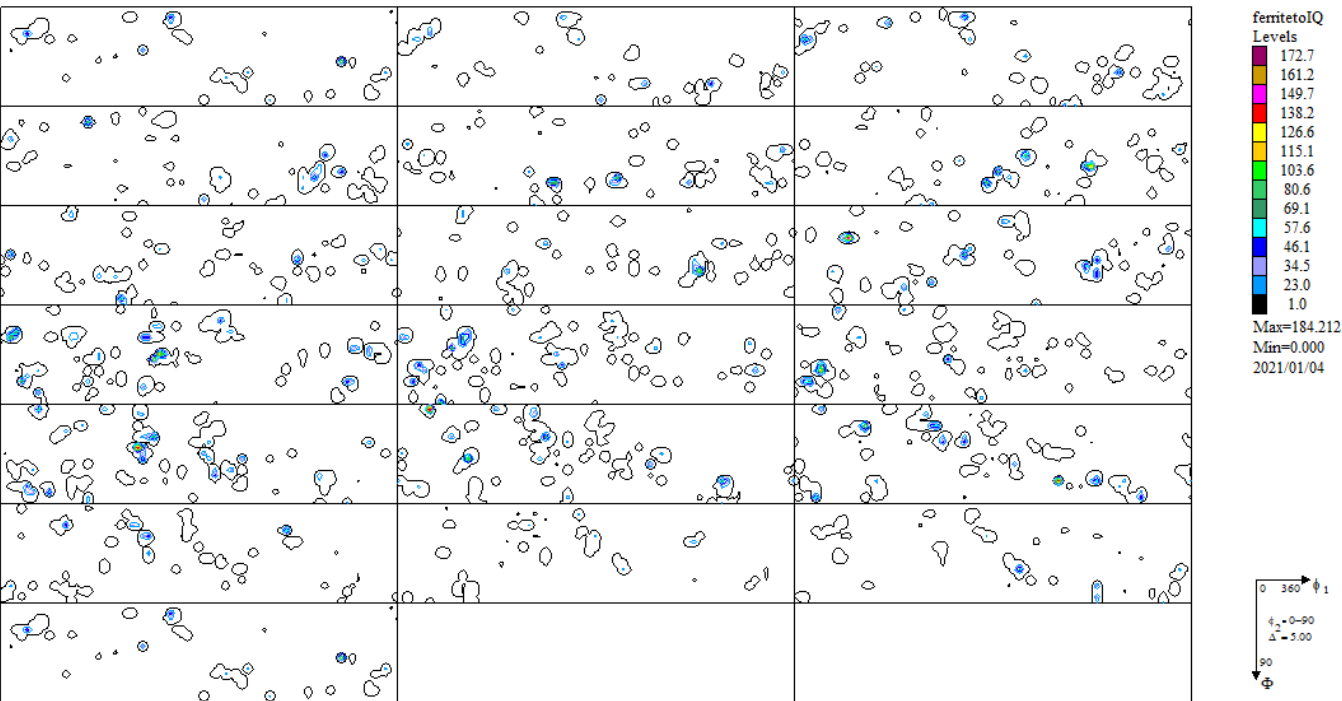


追加したIQ値（データ行のIQ位置を指定、0を入力するとIQ=1とする）

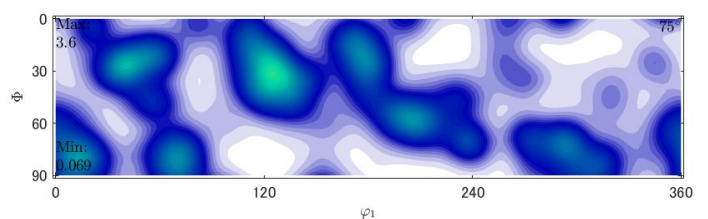
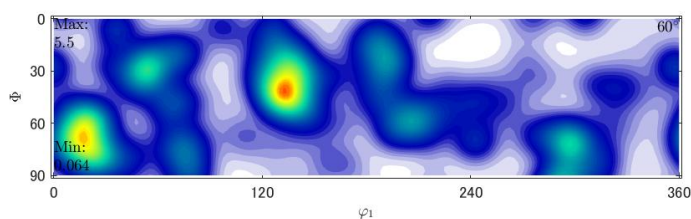
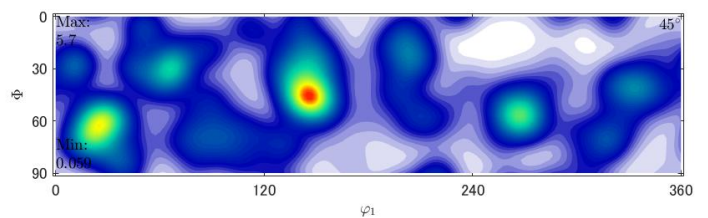
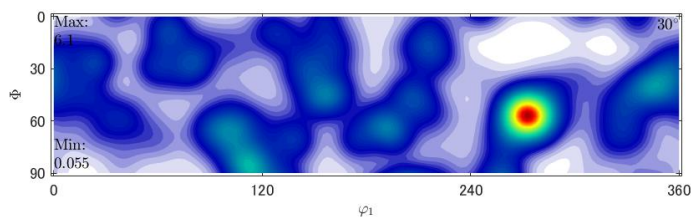
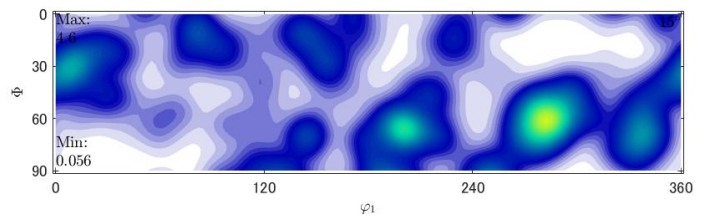
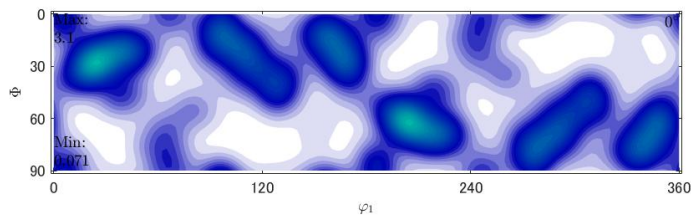
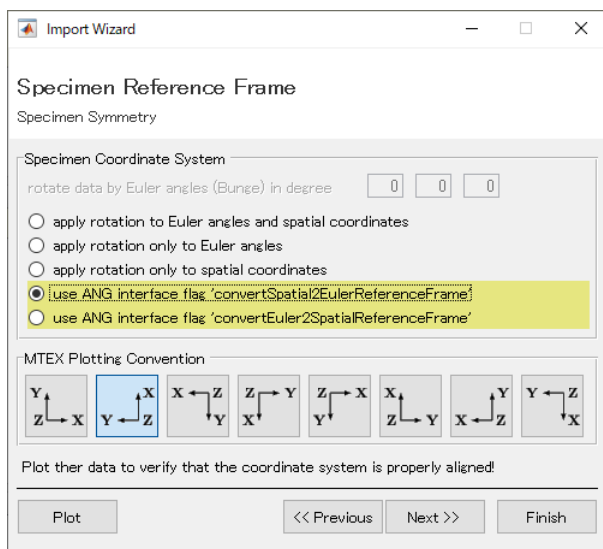
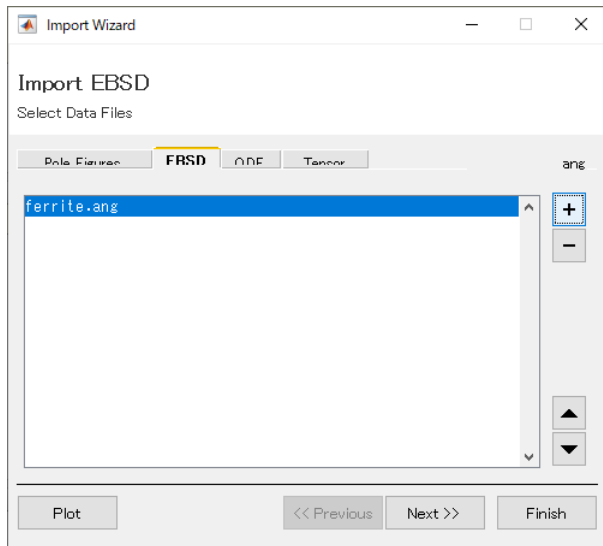
TexTools解析



LaboTex解析



MTEX X解析

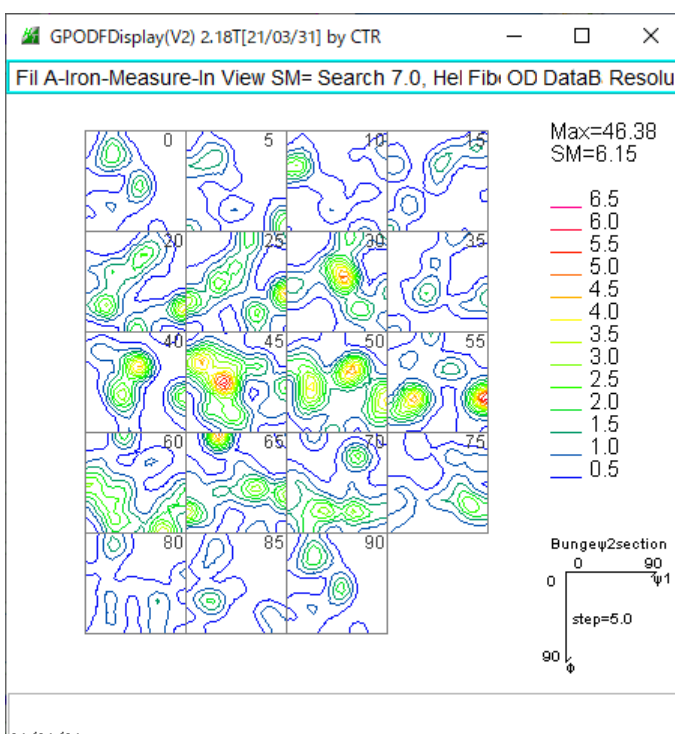
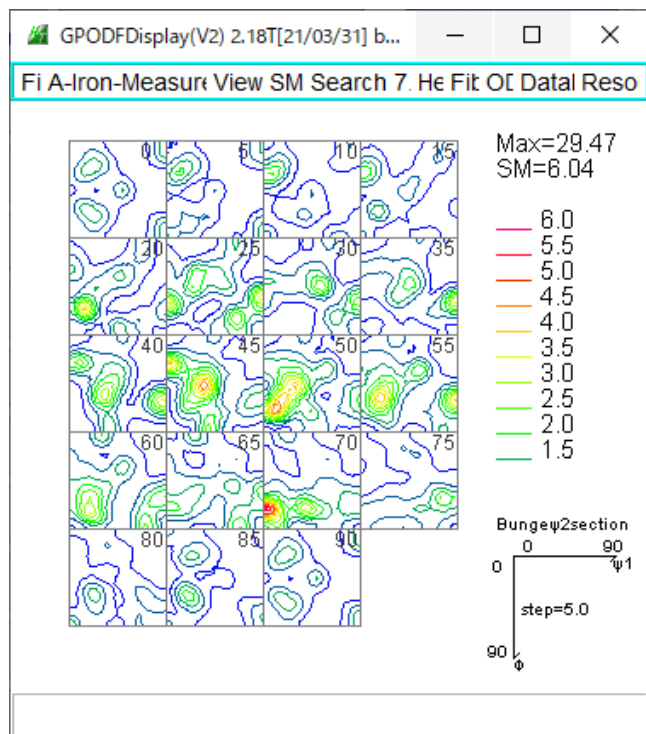


各ExportODF比較 (Trilcinci->Orthorhombic)

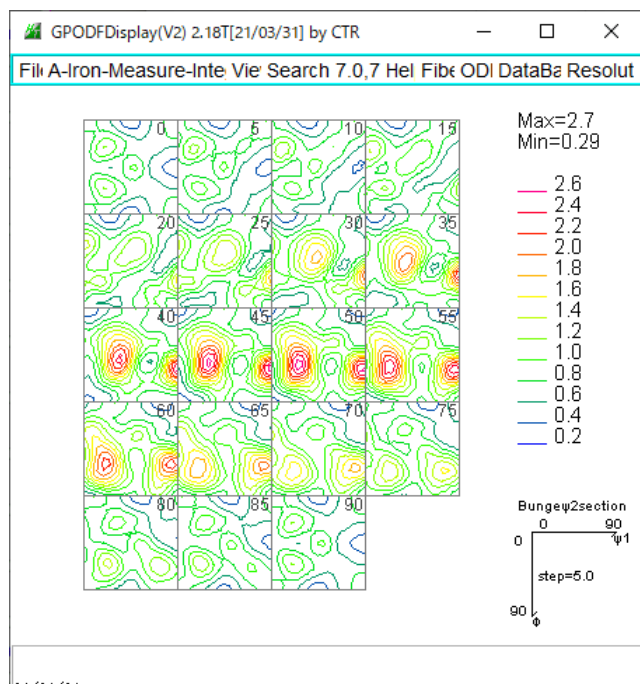
MTEXは、各データに対し、半価幅指定で解析されるので、TexTools, LaboTexは平滑化を行って比較する。

TexTools (SM15(12))

LaboTex(SM15(8))

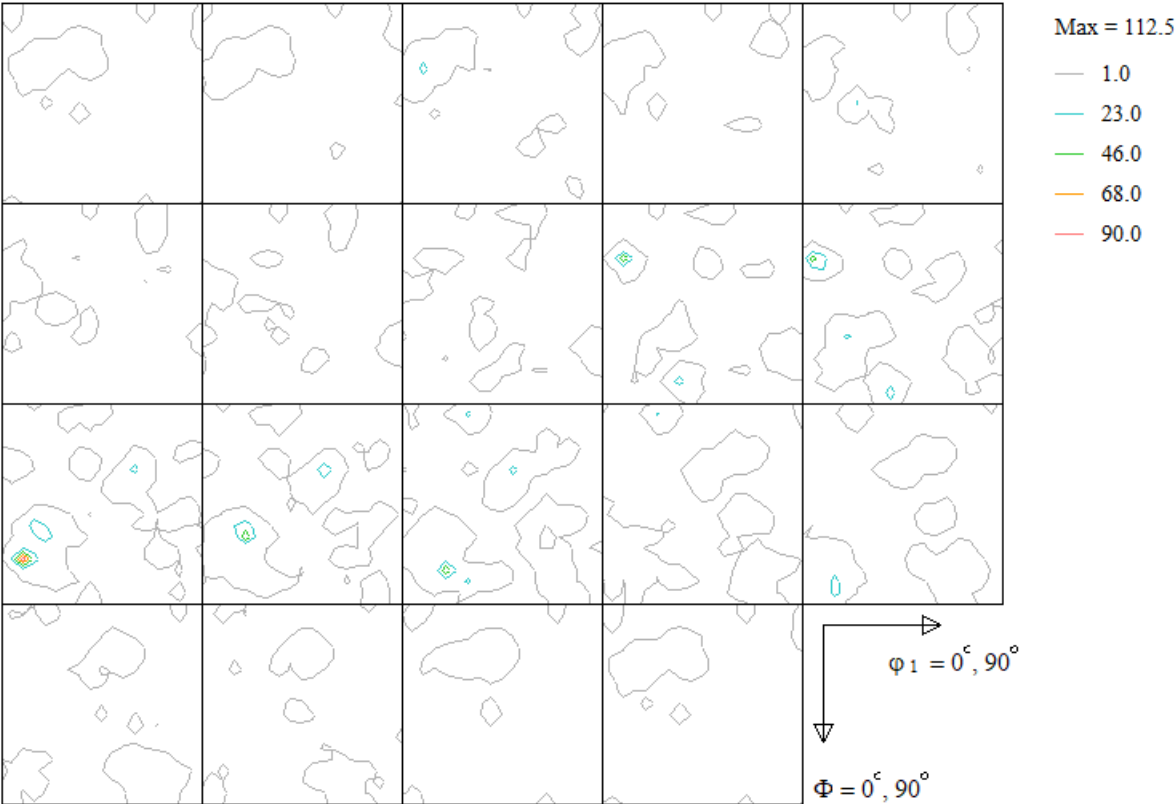


MTEX(平滑化なし)

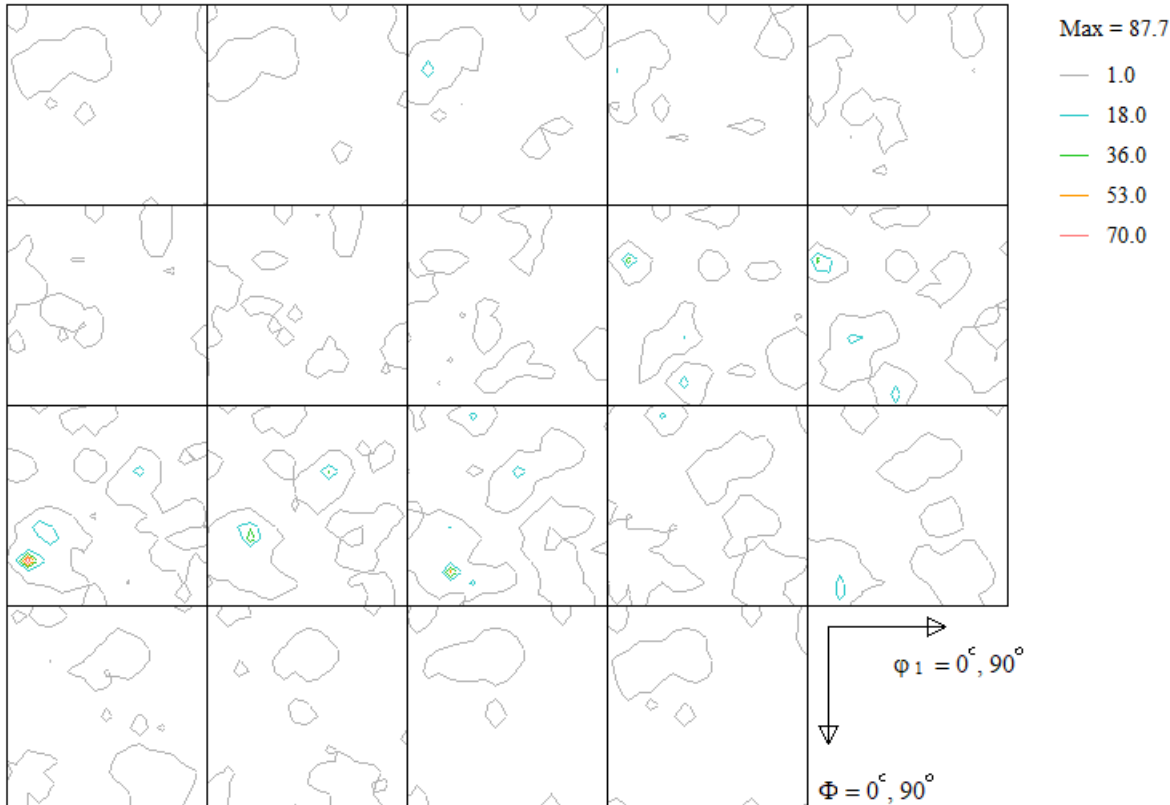


TextTools IQ=オリジナルとIQ=1の比較

IQ=オリジナル

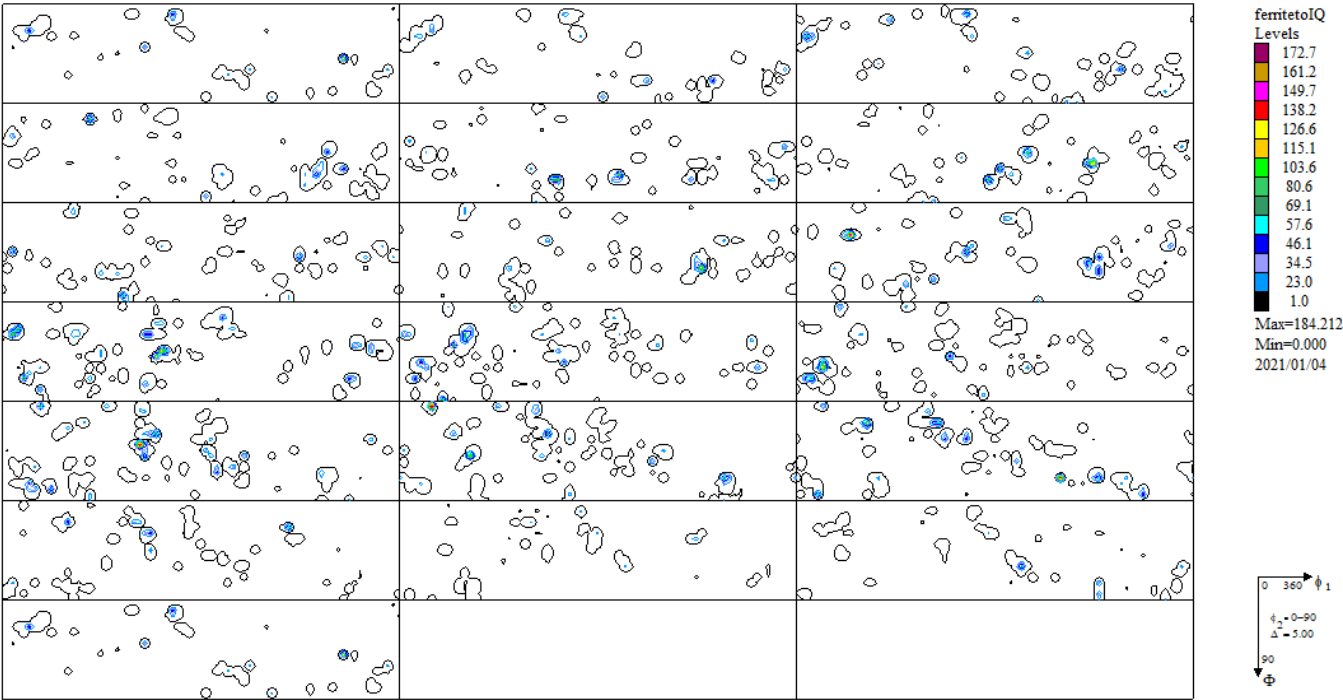


IQ=1



LaboTex IQ=オリジナルとIQ=1の比較

IQ=オリジナル



IQ=1

